

仮想デスクトップ プリンティングセミナー

～VDI環境における印刷課題を解決し、快適な印刷環境を実現！～



KONICA MINOLTA

コニカミノルタの進めるOPSとThinPrintで、
いつでもどこでも快適な印刷環境を実現

コニカミノルタ株式会社 ジャパンMA統括部
ソリューション企画部 ICTコンサルタント
酒井 一樹

Giving Shape to Ideas

今日お伝えしたいこと

1. コニカミノルタって？
2. 何をしているの？
3. どうしてThinPrintなの？

仮想デスクトップ プリンティングセミナー
～VDI環境における印刷課題を解決し、快適な印刷環境を実現！～

コニカミノルタって？

企業データ

本社所在地

東京都千代田区丸の内2-7-2

代表者

代表執行役社長 山名昌衛

設立

1936年12月22日

資本金

375億円19百万円（2014年3月末現在）

連結売上高

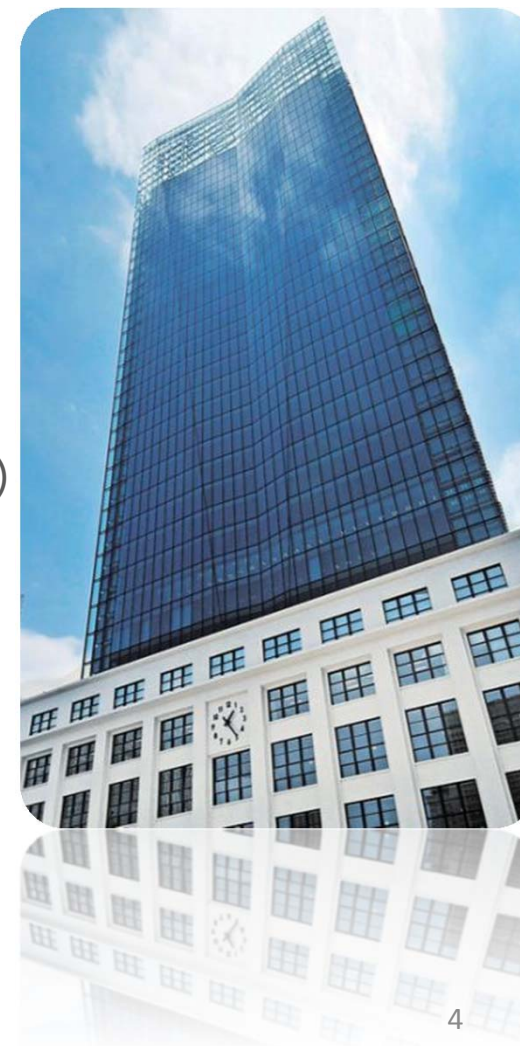
9,438億円（2013年度）

決算期

3月31日

従業員数

単体：約6,300名（2014年3月現在）
連結：約40,400名（2014年3月現在）



企業データ

経営理念

新しい価値の創造

お客さまへの約束

Giving Shape to Ideas

お客さまをはじめとする社会全体の思いを形にすることで、質の高い社会の実現に貢献します。

シンボルロゴ



地球をモチーフにしたシンボルマーク「グローブマーク」は、コニカミノルタの無限の広がりと世界中のお客さまに対する新しい価値の提供を表現したものです。

スポーツ支援とスポンサーシップ

スポーツを通じて、人々に感動をお届けしています。



アジアサッカー連盟（AFC）のオフィシャルスポンサーとして支援



特別協賛スポンサーとして、
「日本女子プロゴルフ選手権大会 コニカミノルタ杯」を展開

コニカミノルタ陸上競技部

陸上競技を通じて、スポーツ振興に貢献しています。



全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤースタート）では
通算8度の優勝を果たし、北京オリンピックにも代表選手を輩出



市民ランナーや子どもたちを対象にジョギング教室を開催

コニカミノルタの事業領域

● 情報機器事業

ビジネスソリューション・クラウドサービス



INFO-Palette Cloud
インフォパレットクラウド

業務の効率化に、情報の共有に、
自由で便利なコニカミノルタのクラウドサービス



プロダクションプリント

bizhub PRESS
C1100/C1085

導入の先に見える豊かな未来を創造する充実の機能、
デジタル・プリンティングの新たな進化へ。



C1100
100 枚/分
100 枚/分

C1085
85 枚/分
85 枚/分

GOOD DESIGN
AWARD 2014

※写真はオプションを装着したものです。

産業用インクジェット



INKJET

インクジェットテキスタイルプリンター

● 産業用・機器事業

機能材料

光学デバイス／計測機器



あかりは、未来へとはばたく

フレキシブル有機ELパネル登場



あらゆるものの数値化を実現
業界標準、販売実績 No.1

※2010年弊社調べ、アジア地域における産業用物体色測定器における販売実績

● ヘルスケア事業

WIRELESS DIGITAL RADIOGRAPHY SYSTEM

AeroDR PREMIUM

医薬品医療機器等法認証番号：226ABBZX00050000

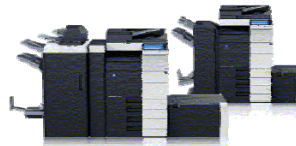
「もっと軽く、もっと強く、もっと便利に
安心してどこでも使えるDR」



コニカミノルタ情報機器事業アップデート

◆情報機器事業シェア※1

✓複合機：海外でトップクラスのシェア



✓プロダクションプリント機：グローバルでトップクラス



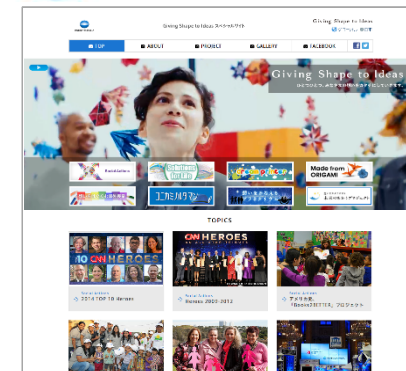
◆2014年 受賞

【経営関連】

- ・第8回『企業の品質経営度調査』※2 総合ランキング1位
- ・第18回『環境経営度調査』で製造業総合ランキング1位を獲得（419社中）

【WEBサイト関連】

- ・インターネットIR最優秀賞
- ・第2回Webグランプリ 企業グランプリ部門 浅川賞優秀サイト
(受賞サイト：http://www.konicaminolta.jp/com_message/index.html)



▲第2回Webグランプリ 企業グランプリ部門 浅川賞優秀サイト作品

※1 外部調査会社による報告結果より

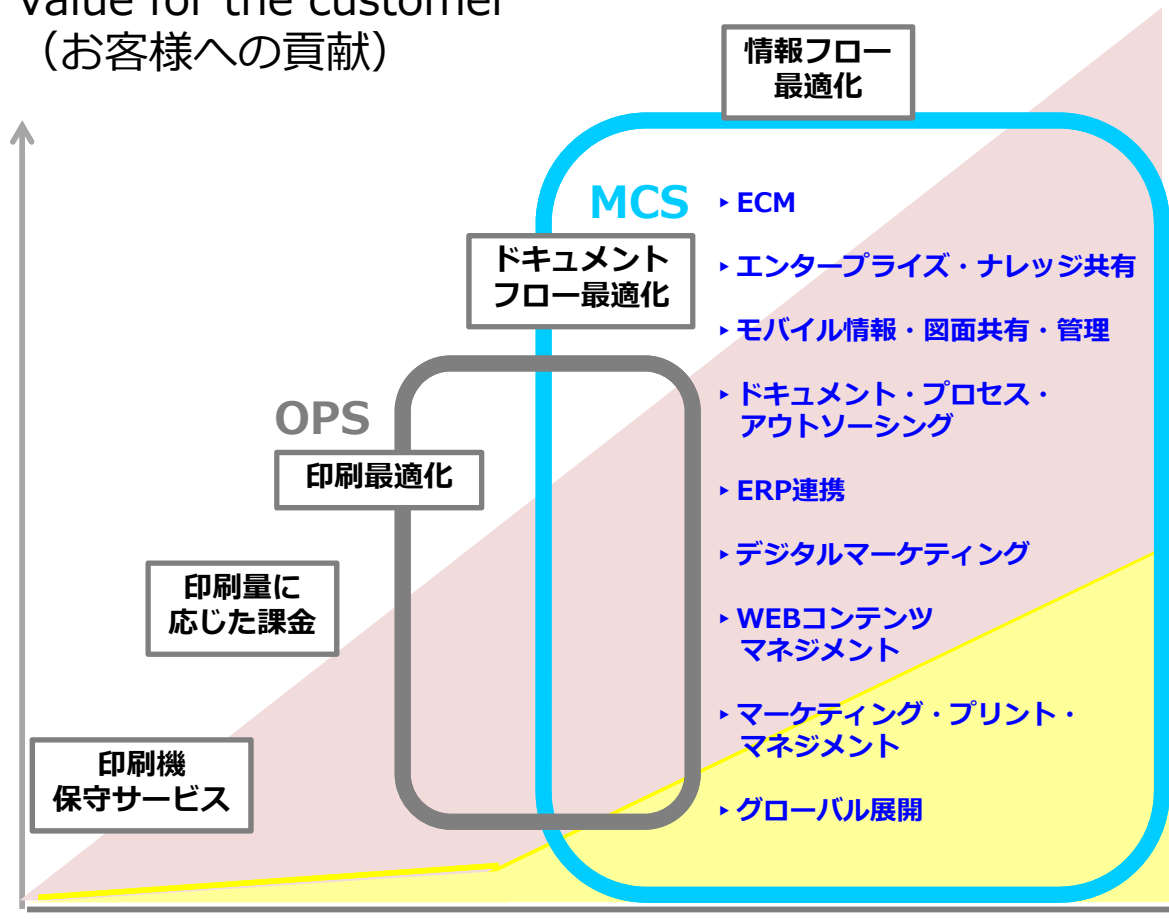
※2 『企業の品質経営度調査』は、日本における品質経営の実態を調査するもので、品質経営の仕組み作りと実践活動に係る6つの側面で評価し、それぞれの得点を合算してランキングしています。
2年に1度実施され、今回で第8回となる本調査では、国内有力製造業・建設業、およびソフトウェア企業など602社を対象として7月8日～8月22日に行われました。

◆TOPIX

- ▶ 2014年4月に山名新社長就任 “ハードとサービスのハイブリッド型の提案を一段と強化”
- ▶ オーストラリアを拠点としたマーケティング・プリント・マネジメント（以下MPM）サービス提供のエルゴ社買収
→印刷業者様および一般企業様双方に向け、印刷業務プロセスを改善し、
販促活動など活用目的に合った付加価値の高い印刷物の企画・制作などを支援強化
- ▶ ECM大手の米ハイランド社との協業
→お客様のコンテンツを一元管理するシステムとその情報の入出力デバイスを提供する
マネージド コンテンツ サービス（以下、MCS）の強化及びグローバル展開

オフィスサービス事業の注力

Value for the customer
(お客様への貢献)



事業の
高付加価値化
を実現

OPS : Optimize Print Services

MCS: Managed Content Services

IMS: Infrastructure Managed Services

IMS

ITインフラ運用サービス

- ・ PC、サーバー
- ・ ネットワーク
- ・ モバイル
- ・ クラウド・・・

コニカミノルタのオフィス事業の成長

仮想デスクトップ プリンティングセミナー
～VDI環境における印刷課題を解決し、快適な印刷環境を実現！～

何をしているの？

オフィスサービス

オフィス環境の課題解決に貢献するビジネスソリューション

主要製品・サービス

- 複合機(MFP)
- レーザープリンター
- ファイリング機器
- ファクシミリ
- ソフトウェア・周辺機器
- クラウドサービス

bizhub



カラー複合機 「bizhub C754」

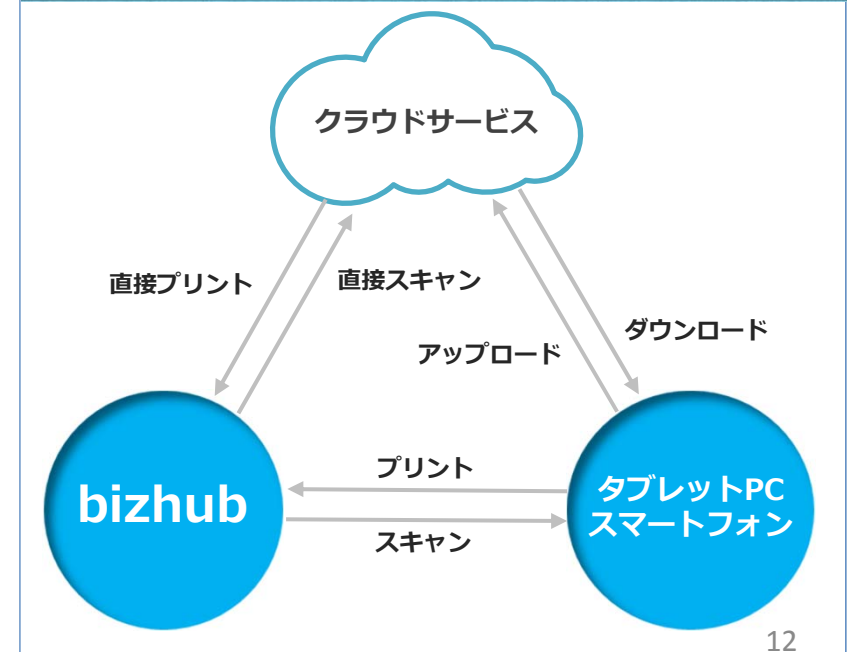


カラー複合機 「bizhub C3350」

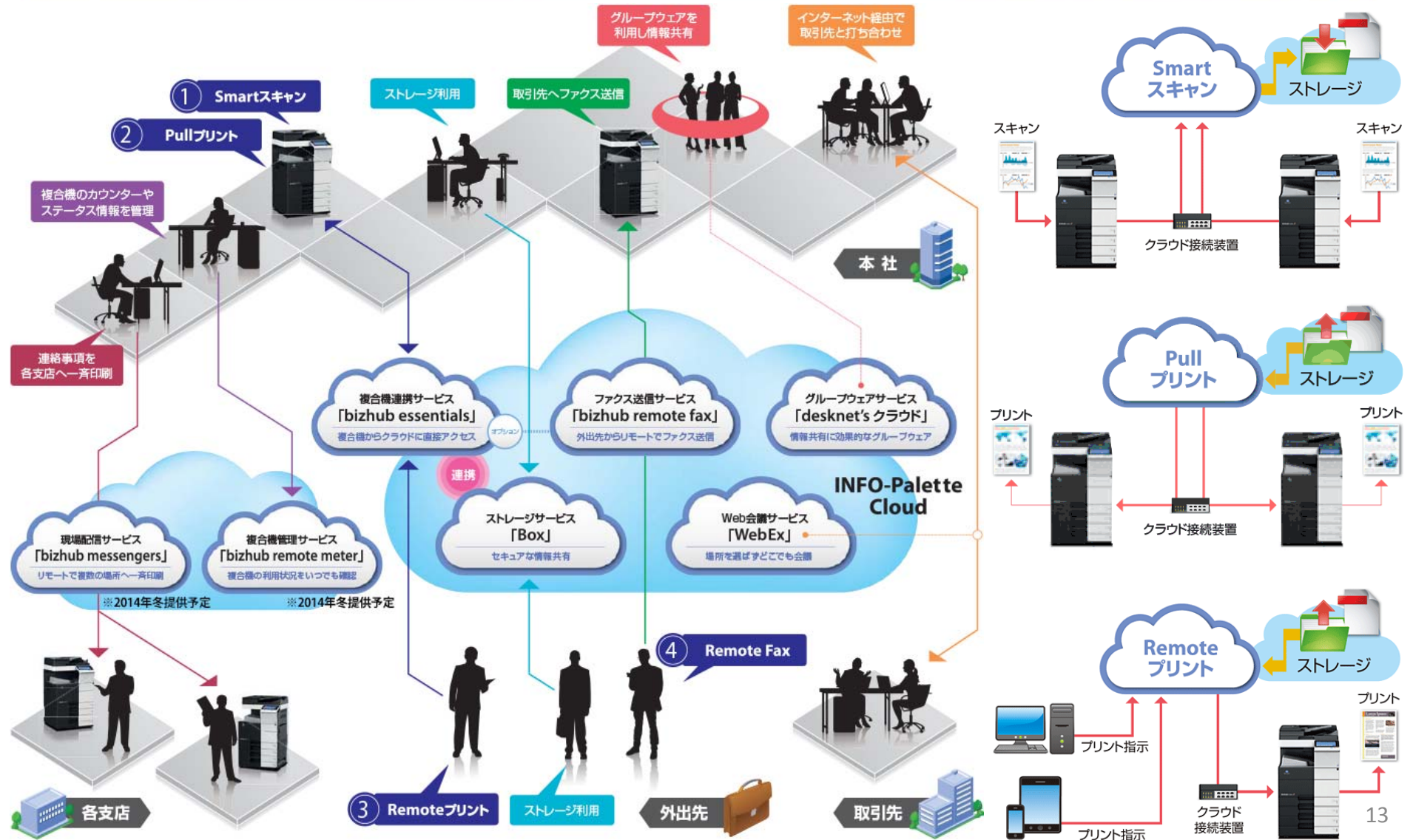
INFO-Palette Cloud

インフォパレットクラウド

業務の効率化に、情報の共有に、
自由で便利なコニカミノルタのクラウドサービス

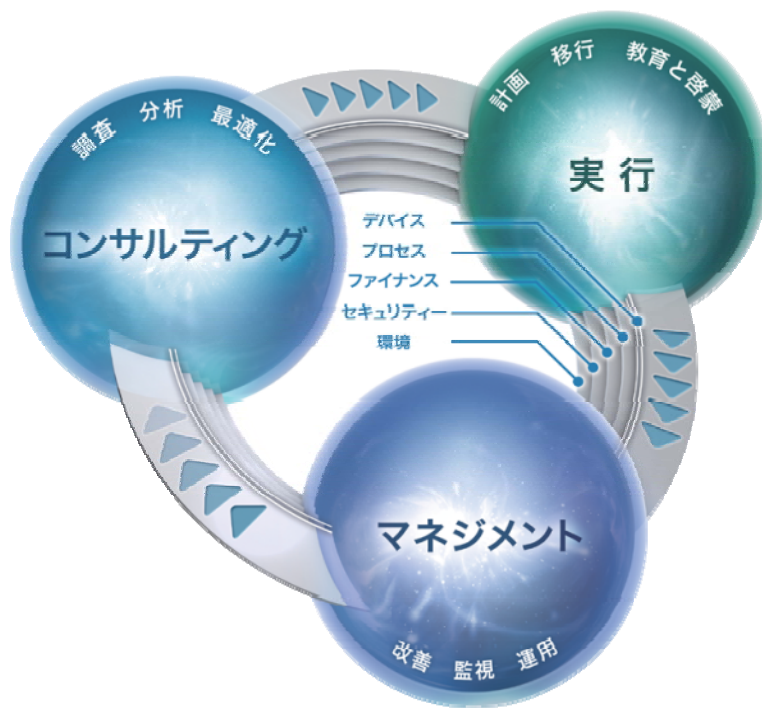


INFO-Palette Cloud



オフィスサービス

“複合機の稼働状況”を起点に考えるオフィス環境の最適化 Optimized Print Services (OPS)



オフィスで使用する複合機など出力機器の管理・運用を、生産性や業務効率を下げずに効率化します。

Think Global, Act Localをキーワードに
グローバル企業のビジネスを強力にサポート



コニカミノルタの出力環境コンセプト

ビジネスドキュメント環境の理想郷
～コニカミノルタのビジョン～

カンパニービジョン



ワークスタイルデザインカンパニー

Work Style Design Company



ビジョンを具現化する「**Content Chain Management[®]**」

どこでもWORK どこでもPRINT どこでもDISPLAY

必要なところで必要なときに必要な人が安全に、
快適に適切なコンテンツを作成・検索・閲覧できる環境を提案・提供します。

フォーカス分野

□ 企業が生き残り、競争優位を保つために、多様な働き方（時間、場所の制約を受けない）を必要としています

➤ ビジネスマネジメント最適化

業務のあり方を変革させる。顧客への接点を増やし、また多様な接し方を行い、スピードに対応し、ビジネスを増大化させる

➤ 生産性の向上

オフィスのスペース生産性、エネルギー効率生産性、人の生産性、時間の生産性向上、設備や消費媒体生産性向上をはかり企業コストの最適化を支援

➤ レギュレーション対応

ガバメントが求める働き方の制約への対応や、規制緩和に対する対応が企業をあげて必要になっている。優秀な人材確保や企業イメージ向上に貢献する

➤ テクノロジー進化への追従

他社に先駆け、テクノロジーの追従や利用が企業全体の競争優位を確保する。ワークスタイルの変革や多様化にはテクノロジーの進化が大きく影響する

Work Style Designの意味と目的

ビジネス
マネジメント
最適化

（顧客接点増大化）

生産性の向上
（空間、エネルギー、人、
時間、設備、媒体）

Work
-style
Design

テクノロジー進化
への追従
（モビリティ、クラウド）

レギュレーションへの
対応
（CO2削減など）

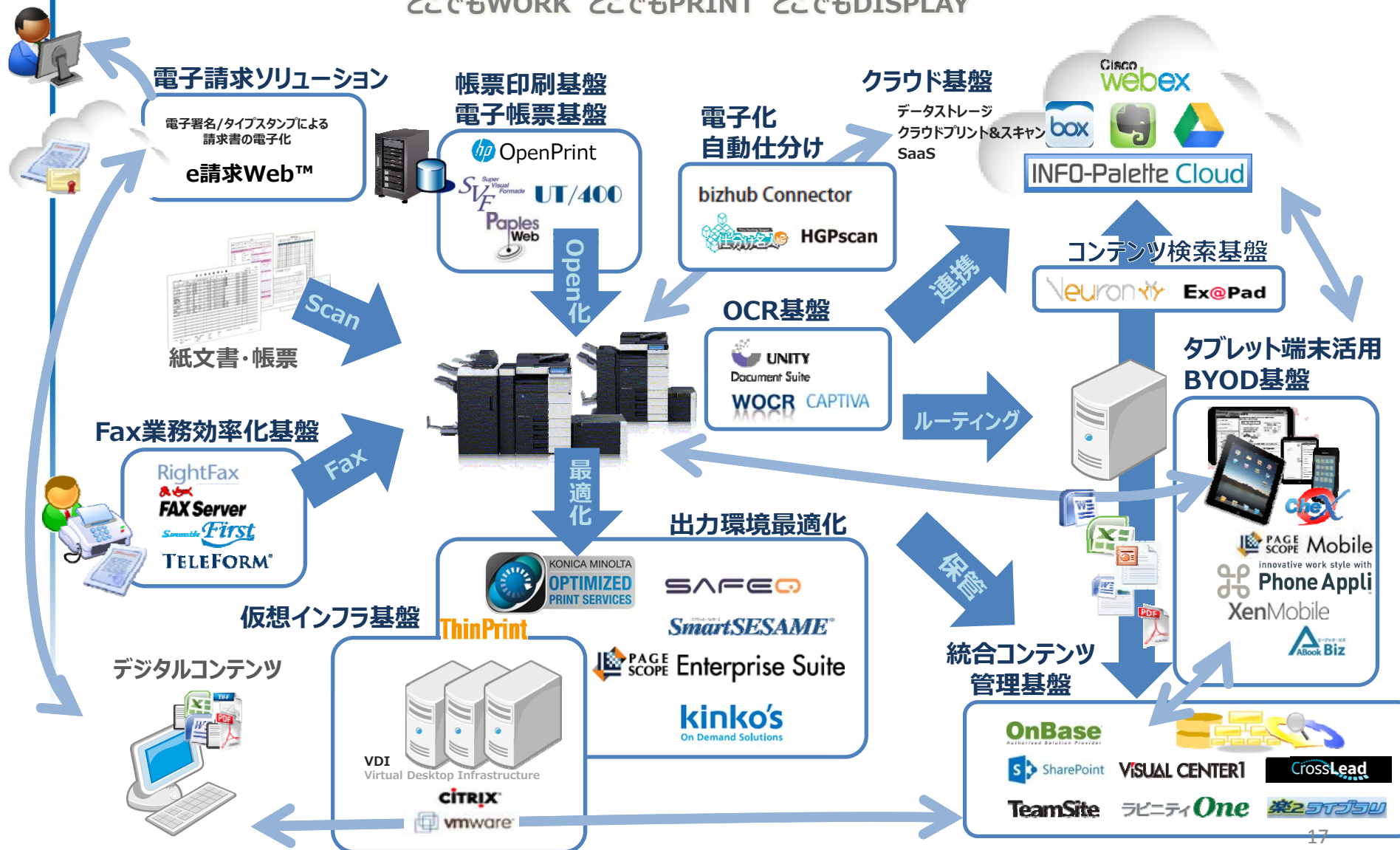


KONICA MINOLTA Content Chain Management®



KONICA MINOLTA

どこでもWORK どこでもPRINT どこでもDISPLAY



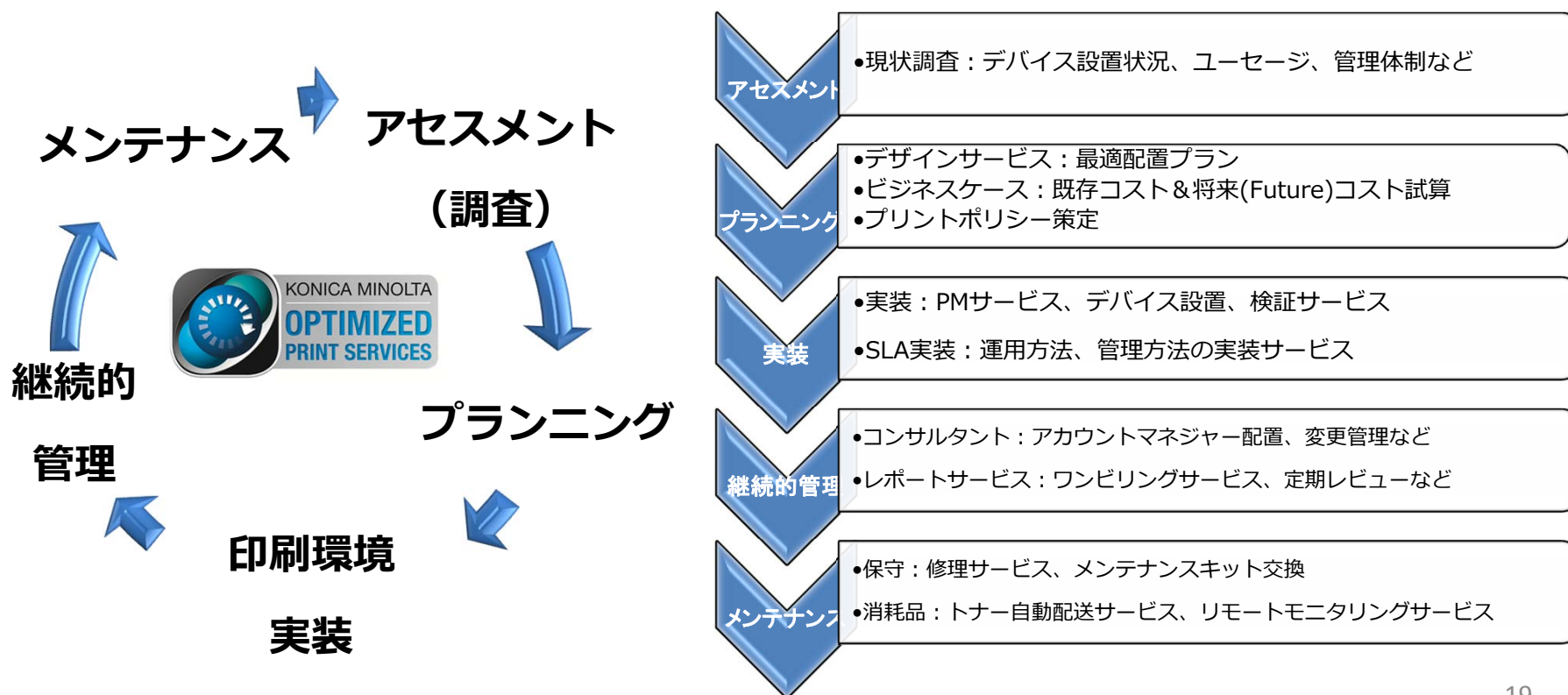
仮想デスクトップ プリンティングセミナー
～VDI環境における印刷課題を解決し、快適な印刷環境を実現！～

どうしてThinPrintなの？

マネージド型プリント環境提供サービス(MPS)概要

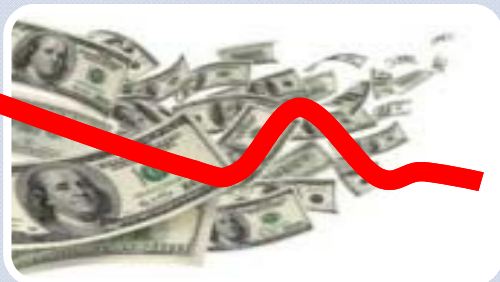
MPSは印刷環境をライフサイクルでトータルサポートする アウトソーシングサービスであり、印刷環境の継続的マネジメントをサポートいたします。

ITガバナンスの下、ユーザ/スポンサ間でSLAを締結し、印刷環境全体を企業の共通印刷インフラとします。環境全体の可視化を目指し、コスト削減、生産性向上などの実現をサポートします。ライフサイクルをマネジメントするための手法を提供いたします。



MPSのゴール ～目指す印刷環境～

ITインフラとしての印刷環境（IT統制下のインフラ）



コストコントロール

（印刷環境全体の

コストコントロール）

- ・標準化（EA：運用や機器）
- ・コストオーナーシップの設定や明確化
- ・印刷ポリシー導入



企業リスク低減

- ・セキュリティリスクの排除
- ・コンプライアンス対応
- ・社会貢献
（環境負荷CO2低減など）



サービスマネジメント

（ITサービスとしての印刷環境）

- SLA定義（管理者／利用者間）
- ・ITIL対応（変更管理）

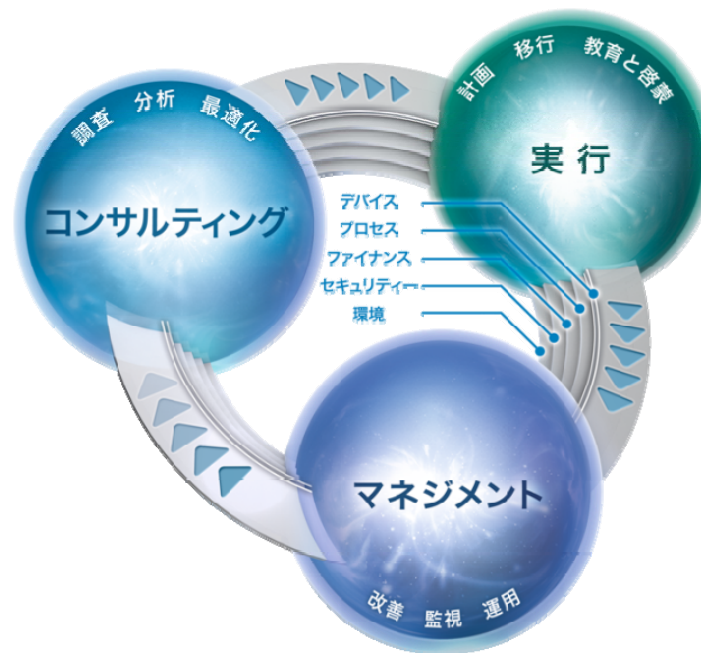
インパクト

- 働き方の変革への対応
- 変化対応可能な印刷環境インフラ

ドキュメント環境最適化フレームワーク

コニカミノルタでは、蓄積したノウハウの集大成として、ドキュメント環境の最適化プログラム：**Optimized Print Services (OPS)**を策定。

コニカミノルタの**グローバル**スタンダードとして、OPSでは以下のフレームワークに定義したサイクルを通じて、ドキュメント環境の効率化・最適化を実現致します。



オフィスのドキュメント環境を効率化し、適正なコストコントロールを実現！

出力機器環境最適化のために

弊社提供出力機器の運用環境を統合することで、出力機器管理部門においては煩雑な管理・運用から脱却し、間接業務の最適化による **“生産性の向上”** や **“コストの効率化”** といったメリットを享受出来るご提案が可能です。

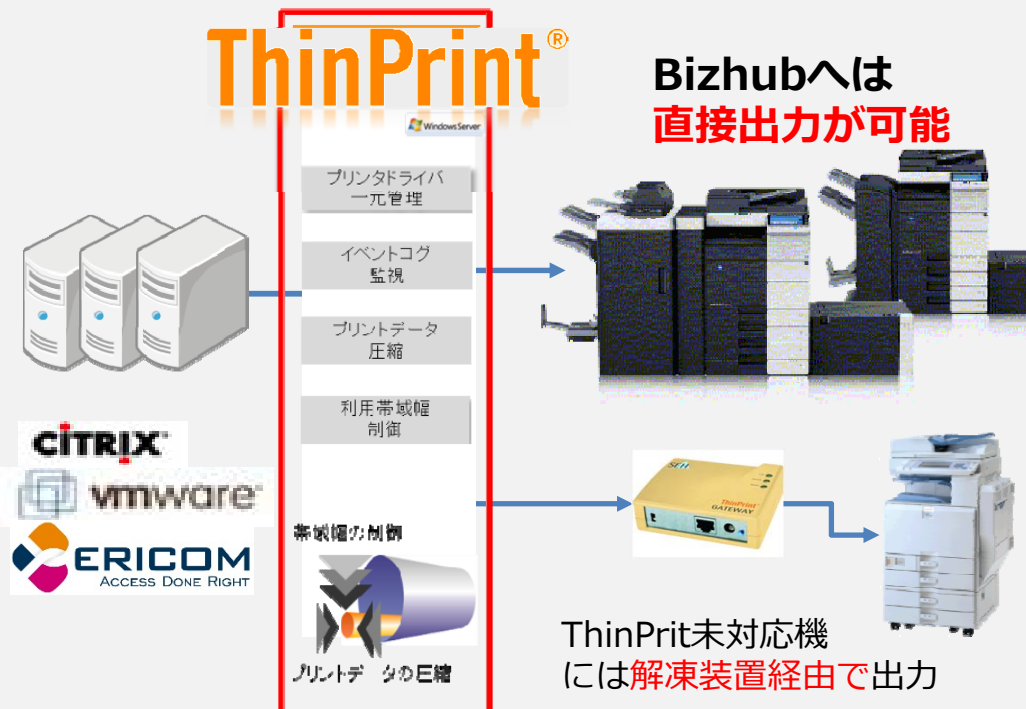


VDI+ThinPrintソリューション

◆現状／課題

- ・ VDI利用中の印刷時に画面が固まり操作が出来なくなる
- ・ VDI利用中に印刷時をしようとしたときに、
全社分のプリンタが表示されてしまうため非効率

◆ソリューションの概要／優位性



◆実績／事例

✓世界で9,000社以上が導入

- ・ Zurich Financial Services
- ・ AXA, Paris, France
- ・ Shiseido, Japan
- ・ Hewlett-Packard GmbH, Heidelberg, Germany
- ・ Philips Medical Systems, Best, Netherlands

◆期待効果

- ✓ 印刷データの圧縮と帯域の制御により業務に支障を出さない
- ✓ 1つのプリンタドライバを選ぶだけで印刷可能

仮想デスクトップ プリンティングセミナー
～VDI環境における印刷課題を解決し、快適な印刷環境を実現！～

事例 1. サーバーVDI導入

流通某社様の課題と解決策

1.VDI利用に関しては検討したが、導入コストがあわない

- 5年間のランニングコストを、1ユーザあたり12万円程度で抑えたい

⇒ サーバーVDI環境

2.社内と社外からのアクセス端末を1台にしたい

- 2台持たせるコスト負担は無理

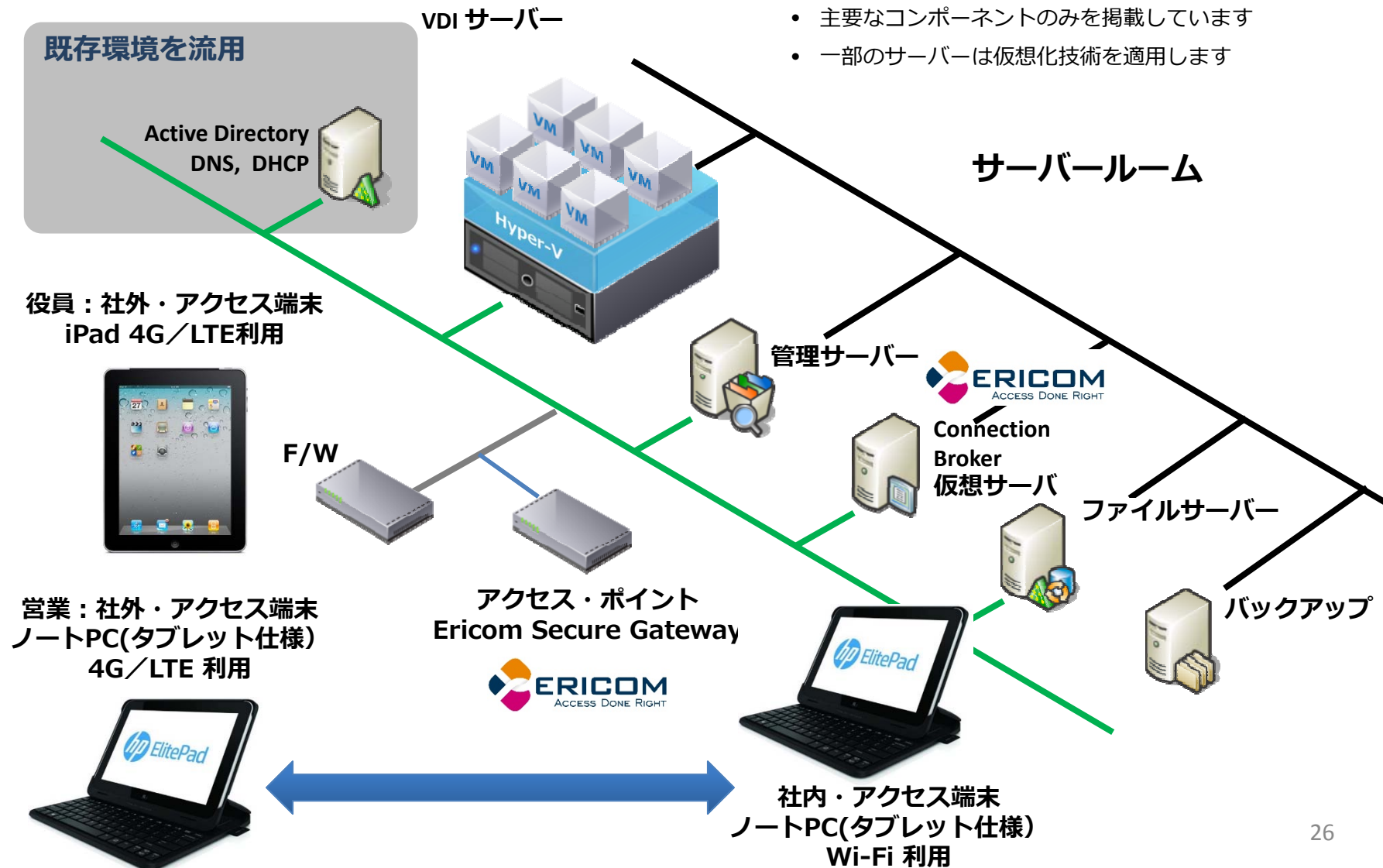
⇒ コスト月額2,000円のチャレンジ

3.マウスを利用したい

- iPadでWindowsアプリケーションを利用は無理
- Gmailを利用しているのiPadも利用したい

⇒ 先進性のアーキテクチャ

サーバーVDI導入事例



仮想デスクトップ プリンティングセミナー
～VDI環境における印刷課題を解決し、快適な印刷環境を実現！～

事例2. 複雑なVDI環境からの印刷

京都大学附属病院の課題と解決策

2014/05/20 発信

京都大学医学部附属病院と共同で、コニカミノルタの「INFO-Palette Cloud（インフォパレット クラウド）」サービスの基本技術に応用した、クラウド型仮想環境※1向けプリントシステムの実証実験を行って参りました。
昨年10月から京都大学医学部附属病院黒田教授の協力の下、数ヶ月にわたり行われた実証実験の結果、安定した運用が可能であると判断し、**本年4月から「京都大学医学部附属病院向けクラウドプリントサービス」**として本格的に運用開始するものです。

背景・課題

医療の現場でも、研究や患者さんへの説明補助にインターネットの利用が有効ですが、情報のセキュリティを確保するため、多くの場合、制限を設けざるを得ません。

京都大学医学部附属病院では、院内の電子カルテ端末からインターネット閲覧可能となっていますが、電子カルテの安全性確保や患者さんの個人情報保護のため、**仮想デスクトップ接続を利用したシステムを構築・運用しているため、院内からのインターネット閲覧は可能なものの、その閲覧情報を印刷することは、システム上出来ませんでした。**このため、患者さんから説明補助に利用した情報の印刷を求められても手渡すことは出来ませんでした。※

解決策

クラウドプリントサービスは、京都大学医学部附属病院のような、ファイアウォール（以下F/W）に堅固に守られた環境、複雑な仮想環境を経由する環境、あるいは印刷において仮想環境への依存が好ましくないような状況下にて、お客様に安全で簡単な印刷ソリューションを提供します。

1. 仮想環境とは独立した印刷の専用経路を設けます。（このため、仮想環境のシステムには影響を与えません）
2. コニカミノルタの印刷デバイスだけでなく、他の印刷デバイスにも対応可能です。
3. 通常の印刷と同じ手順のため、利用者は特別な操作を意識する必要はありません。
4. クラウドによる印刷のログの一元管理が可能です。

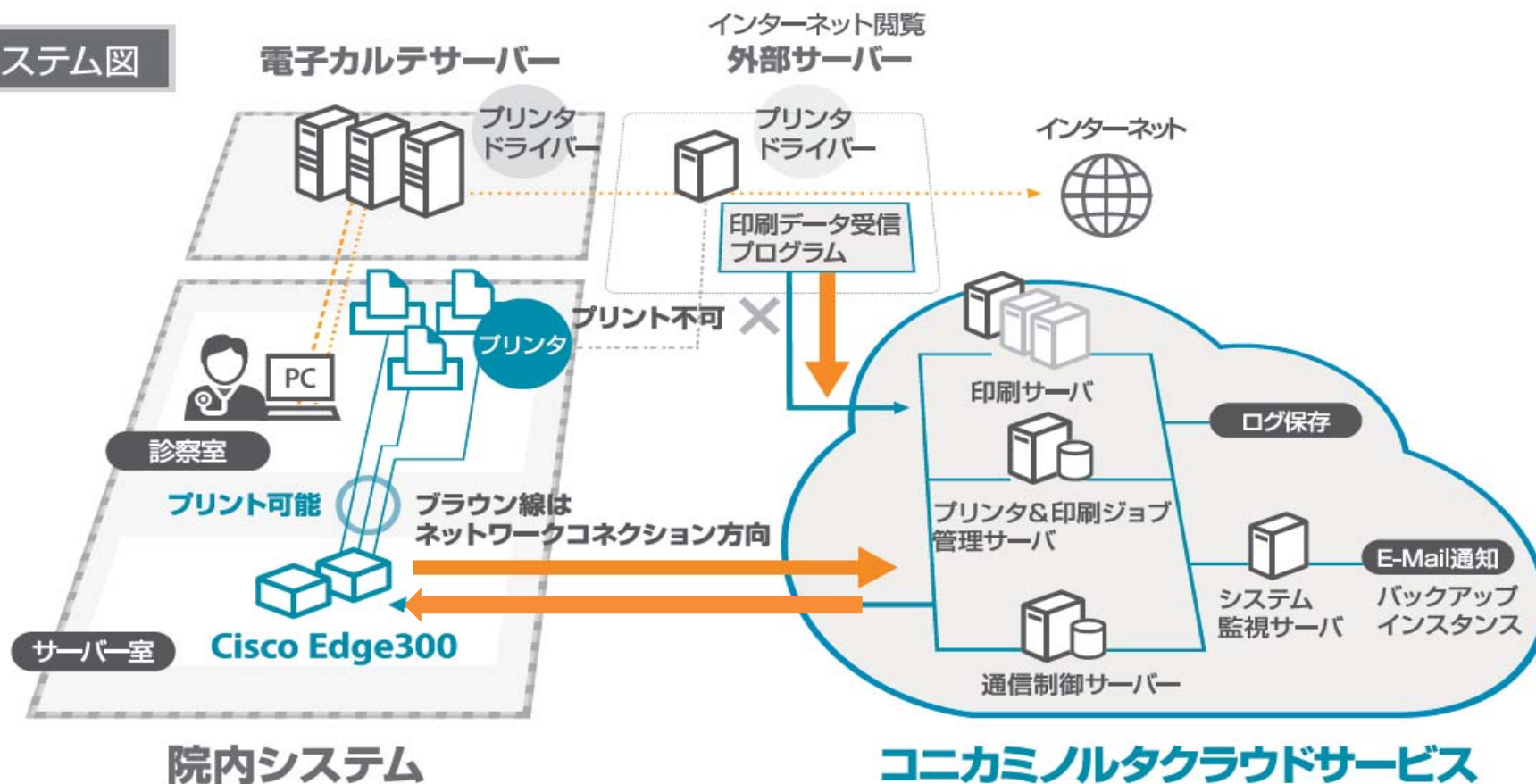
bizhub essentials

京都大学附属病院の利用環境

主な機能

仮想デスクトップ環境 からのインターネットからの情報をリモート印刷を実現

システム図



しかし、色々なメーカーの“出力機器”があるけど…

マルチベンダー環境を維持しつつ・・・



認証を一元化

“放置印刷物の排除”

ドキュメントボ
リュームを可視化

“コストの見える化”

ユビキタスプリント

“どこでも印刷”

“マルチベンダー環境”でも解決します！

出力環境でのお困り事

利用者

プリンタが混んでる！

- ・空いているプリンタで、必要な時にすぐに印刷できるようにしたい

印刷物の取忘れ
情報漏洩が心配

- ・印刷した紙の取り忘れを防止したい
- ・印刷物を他人に見られないようにしたい

管理者

印刷枚数の集計が
大変

- ・部門別の印刷量を簡単に把握したい

メーカーを1社に
限定はできないな～

- ・メーカーによる競争原理をきかせ、サービスレベルを維持したい

“マルチベンダー環境”
で解決！！
これがコニカミノルタの
マルチベンダープリンティング
ソリューションです

解決その1

“どこでも印刷”を
同時に実現可能

解決その2

一元化された
認証システムにより、
放置印刷物を排除

解決その3

部門別の印刷量を
容易に可視化

導入メリット

利用者

“どこでも印刷”で
いつでもどこでも印刷



認証印刷で
情報漏洩対策も万全

管理者

メーカー毎の印刷
枚数を一元管理

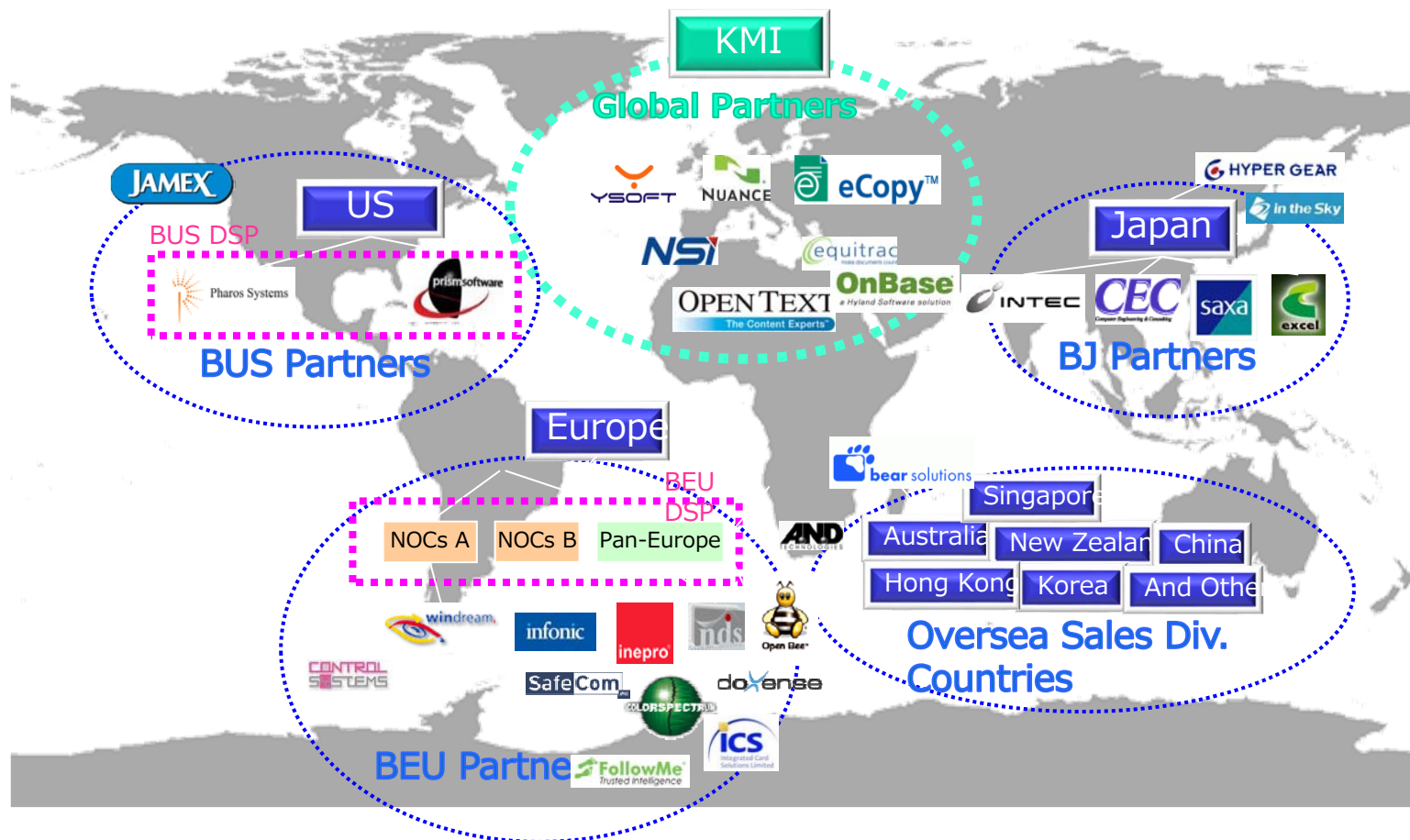


マルチベンダーなので
メーカーのサービス
レベルも維持できて安心

グローバルアライアンス

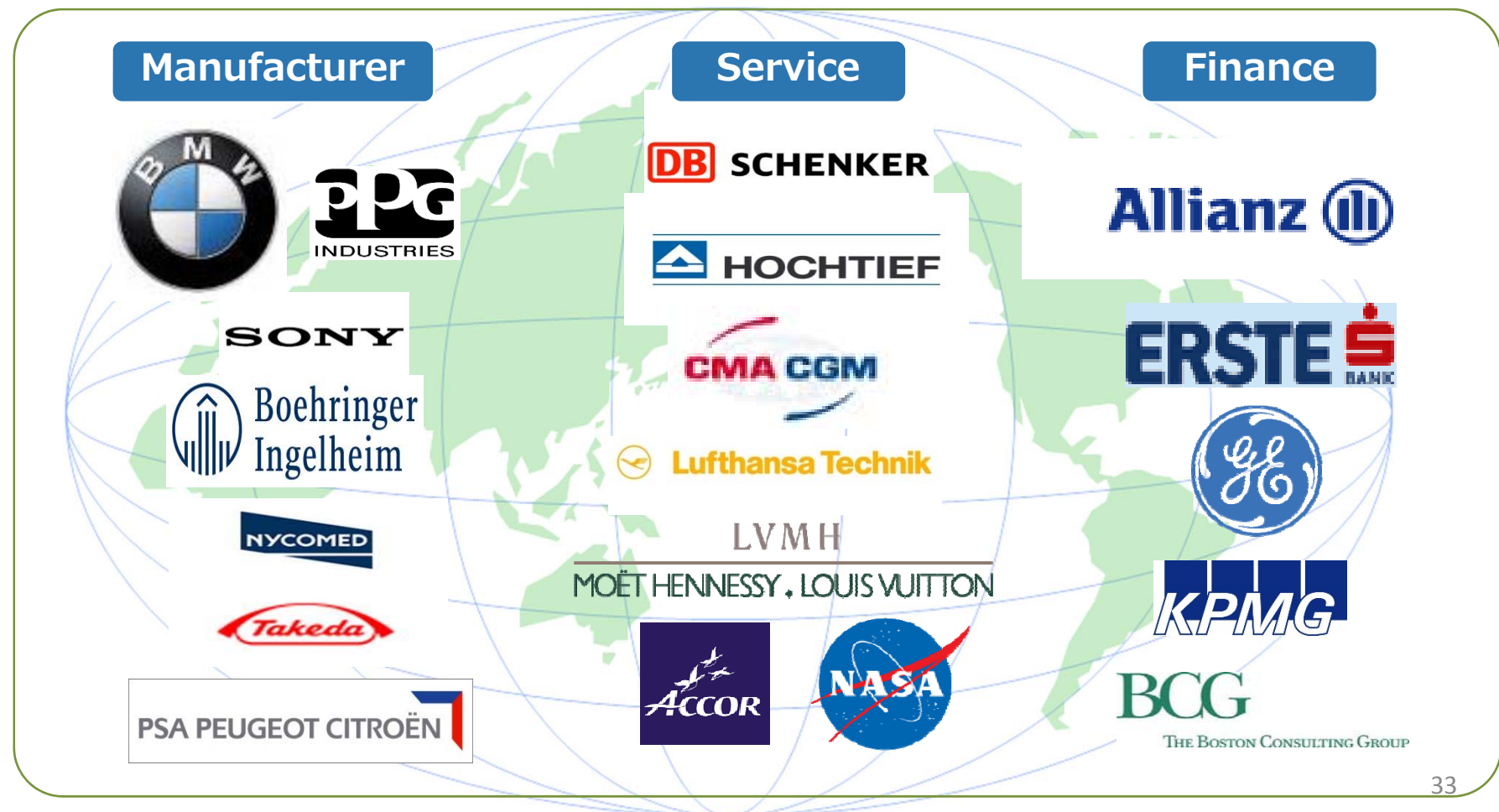
～将来に向けたサービス拡充、最適化（配置・運用）への提言を継続～

- 各地域/グローバルのそれぞれで最適なソリューションパートナーとアライアンス
- Follow-meソリューション、ECMを中心に幅広い出力機器周辺ソリューションを提供



グローバルアカウント導入実績

豊富な実績とノウハウをもとに出力機器及び周辺ソリューションのグローバル展開をサポートします。



アンケートにご協力ください

1. ThinPrintのデモ、検証

2. OPSのご紹介



トピックス：いよいよ有機EL事業が本格化

樹脂基板フレキシブル有機EL照明パネル ハウステンボスが世界初*の「光る有機ELチューリップ」に採用 約15,000枚の有機EL照明パネルが春の夜を彩る

コニカミノルタ株式会社が開発した樹脂基板フレキシブル有機EL照明パネルが、ハウステンボス株式会社（本社：長崎県佐世保市、社長：澤田 秀雄、以下 ハウステンボス）が開催する「チューリップ祭」（2015年2月14日～4月13日）において、有機EL照明として世界初のフラワーイルミネーション「光る有機ELチューリップ」に採用されました。「チューリップ祭」では、3大チューリップスポットのひとつ「フラワーロード」に、約5,000本の「光る有機ELチューリップ」が作る『光のチューリップガーデン**』が誕生し、他に類を見ないスケールとなる、合計約15,000枚の有機EL照明パネルが使われます。



コニカミノルタが独自のコア技術を活用し、世界に先駆けて量産を開始した樹脂基板フレキシブルタイプ有機EL照明パネルは、薄い、軽い、面光源、曲がるという従来の照明にない特長があります。また、高いエネルギー利用効率や少ない発熱に加え、水銀を使用しないなど、環境性能にも優れています。これらの特長を生かし、新しい照明の世界を拓く次世代照明として大きな注目を集めています。

「光る有機ELチューリップ」は、フレキシブルタイプ有機EL照明ならではの薄さ、軽さ、造形の自由度を活かし、ハウステンボスからのイルミネーションの仕様・機能などについての意見を反映しながら、両社で共同開発したものです。

コニカミノルタは、お客さまへの約束「Giving Shape to Ideas」のもと、有機EL照明のマーケティング活動を推進し、フレキシブルタイプの良さを発揮した新しい照明のアイデアをカタチにしています。

*有機EL照明によるフラワーイルミネーションとして

**夜景評論家 丸々 もとお氏による演出



KONICA MINOLTA